丘友會報

鈴鹿高女
亀山高校
同窓会

亀山市本町1丁目10-1
TEL 0595-83-4560
FAX 0595-83-4567

「100周年に向けて」

丘友会会長　渡瀬忠幸

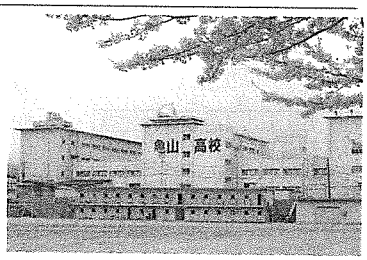
丘友会の皆様におかれましてはお元気でお過ごしのことと存じ上げます。日頃は丘友会に何かとご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ここ数年の亀山高校は、新しい学科が新設されたり、また校長先生が民間から着任されたりで注目を集めた時期だったように思います。生徒たちもその意識は持っていたようで、自己研鑽に努めさまざまな面でレベルが上がってきたような感じがいたします。クラブ活動においても全国レベルで活躍するクラブが多くなってまいりました。クラブ活動では授業では学べないもの、たとえば、縦横の人間関係　礼儀作法　心身の強化などをしっかりとみにつけることができ、社会人として役立つことを多く学ぶことができます。幸いにも亀山高校にはさまざまな面からクラブ活動を支援していく亀山高校クラブ活動後援会という組織がございます。それを有意義に活用し　今後クラブ活動がますます盛んになることを願っております。

さて、私も丘友会会長をお引き受けさせていただいてもう3年が過ぎました。あっという間の3年間でした。その間も会員数は毎年増えてまいります。そして歴史は刻み続け90周年そしてひと区切りの100周年が迫ってまいります。会員数は100周年を迎える頃には2万8千人に達していると予想されます。これだけの会員数になりますと　いろいろな人との出会いの中で、偶然にも亀山高校の卒業生とお会いすることがよくあります。初対面でも同じ亀山高校の卒業生というだけで意気投合したり、ちょっと安心感を持ったり、今後もその出会いを大切にしていきたいと思っております。このような出会いができるのも　亀山高校の歴史を長年築いてこられた諸先輩方のご努力の賜と確信いたします。100周年記念には諸先輩方にさまざまな面で敬意を表するとともに、今後の亀山高校の躍進の期待も込めて　印象に残る式典を企画したいと考えております。それには早くからの準備が必要で　実行委員会組織を立ち上げ　入念な打合せを行い納得できるイベントに作り上げていかなければなりません。

実行委員会組織については構成員をどのようにすれば委員会としてまとまっていくのかという観点から現在検討を重ねております。会員の皆様にはいろいろとご協力をお願いするかもわかりませんが　その時はどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様の今後のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



「永遠の亀高ファンとして」

校長　松井慎治

丘友会会員の皆様には、平素より亀山高校へのご支援をいただき大変感謝しております。

創立86周年を迎え、2万数千名を超える亀山高校卒業生が、校訓にもあります「自主自律」を礎に、各界でご活躍されておりますことは、この上もない喜びと誇りであり、またその姿は在校生にとっても非常に心強く、今後の自信につながるものと確信しております。

私は昨年度より学校長を務めさせていただいております松井でございます。

昨年度1年間、卒業生の皆様にお会いする多くの機会がありました。その中で亀山高校は卒業生をはじめ、地元のたくさんの「亀高ファン」に支えられており、学校に向ける熱い思いや期待が大きいことを感じております。その期待に応えるよう今後も地元から信頼され、安心して通える学校を、そして地元内外の期待に応える「進学もできる、就職もできる」学校を目指して参ります。

その中で、生徒には、将来の進学・就職では基本的生活習慣が不可欠であるという観点から

挨拶をする
服装・制服を正す
会話・対話を通じて「気づく」こと　を繰り返し求めています。

その結果、本校への進学希望者またその保護者からは「面倒見が良く、落ち着いて安心して通える学校」との評価をいただいております。

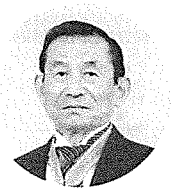
今後、亀山高校は、創立90周年、100周年を目指し、日々邁進してまいります。

皆様から母校へのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、更には今後共「永遠の亀高ファン」であっていただくことをお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げております。

「古希を越えて故郷を想う」

昭和29年卒業　林　赳夫



昭和二十六年（一九五一年）私たちは亀高六回生として入校しました。米占領下の我が国では夏時間が行われ、県立高校は学区制で、生徒は亀山市、鈴鹿郡の西部、河芸郡の一部、安濃郡の一部（亀高か津高）に住む者でした。

したがって郷土色が強く、現在でも毎秋一泊旅行の同窓会を、三重、関西、三重（亀山市在住）、関東持ち回りでそれぞれの有志が幹事となって企画しており、最近は少し減りましたが約三十名余りの参加者があります。五年前には卒業五十年記念で母校を訪れ感傷に浸りました。毎年ひとときを高校生に還って友情を温め、近況を語りあっておりますが、学区制で地域の高校であったことも大きな要因だと思っております。

私は亀高を卒業して国立大に合格しましたが、経済的な事情もあり、保安大（現在の防衛大）に二期生として入りました。

卒業後、江田島にある幹部候補生学校で一年間の教育を受け、ハワイ経由で米西海岸往復の遠洋練習航海を終え、海上自衛隊の航空部隊要員として約一年半のパイロット教育を受けて哨戒機乗りとなり、総飛行時間六千五百時間余で幸運にも事故なく、自衛艦隊幕僚長を経て、教育航空集団司令官（海将）まで、十八歳から五十六歳まで海上自衛隊に勤務でき、東西冷戦下の戦争抑止にそれなりに貢献し、ソマリア沖の海賊対処等に活動できる現在の実力養成の一端を担ったと自負しております。

国の安全保障に関する国民の理解は進んできましたが、昨今の国会における外交防衛論議を観ても国際レベルには未だ遠い感もします。しかし私は日本民族の叡智を信じたいと思います。

一昨年秋の叡勲（瑞宝中授章）で天皇陛下に拝謁の栄に浴しました。同級生も祝ってくれました。今回、同級の西村すづ子さんが渡瀬丘友会会長に私を紹介してくれ、寄稿することになりました。

これも一重に色々な意味で私を育んでくれた故郷の多くの人々、海上自衛隊勤務で出会った多くの人々との切磋琢磨を通じて成長できた結果であり、深く感謝申し上げる次第です。

私は三男ですが先祖代々が眠る故郷（津市芸濃町林）閑翁寺の檀家に昨年なりました。

亀高と丘友会の益々の発展充実と会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念しつつ筆をおきます。

「今、思うこと」

昭和60年卒業　上田元基

亀山高校を卒業して二十四年、その間に時代は昭和から平成へ変わり、二十一世紀を迎えました。それに合わせた訳ではないが、私も平成元年に社会人となり一般企業へ就職し、ミレニアムの頃に転職を決意し、野登郵便局長に就任しました。

高校卒業の頃に、電々公社、専売公社が民営化され、その二年後には国鉄が民営化されました。

そして平成十九年十月、「サービスの維持」「ネットワークの維持」「すべてが良くなる」「生活も豊かになる」と言われ、郵便局も民間企業として新たなスタートを切りました。

しかし、お客様からは「料金が高くなった」「配達が遅い」「窓口で待たされる」「何も変わらないな」という言葉ばかりで、「良くなった」という言葉は何一つ聞こえてきませんでした。

更に、過疎地では閉鎖する簡易郵便局が続出しました。

最近になって郵便局の保険の新商品や、銀行への送金など新サービスも出てきましたが、売上、社員へのノルマ、業務処理、経営効率化に伴う人員削減などに振り回され、お客様に対する細やかな配慮がなくなっています。

高齢化社会が進行している今、私は、郵便局の現場を預かる者として、何が大切か、何をしなければいけないかを考え、明治以来百三十有余年、地域と伴に歩んできた郵便局の「サービス」「ネットワーク」が、これからも維持できるよう訴えていきたいと思っています。

総会のお知らせ

第五十一回（平成二十一年度）丘友会総会を次のように開催します。ぜひご出席下さいますようお願い申し上げます。

なお、これをもって正式通知とし、各会員宛には案内状をさしあげませんのでご承諾下さい。

一、日　時
九月六日（日）
午前十時～役員会
午前十時三十分～総会

一、場　所
亀山高等学校大会議室

一、議　題
1、平成二〇年度経過報告、決算に関する件
2、平成二一年度事業計画に関する件
3、その他

チャリティゴルフ開催のお知らせ

◆日時
平成二十年八月二十七日(木)
八時三十分スタート

◆コース
鈴鹿カンツリークラブ

◆会費
六、〇〇〇円
（昼食・パーティー・賞品・チャリティー賞）

◆申し込み締め切り
八月一〇日（月）

◆申し込み
堀田建設（株）　都築　滋　宛
TEL　〇五九五－八二－三三一一

◆主催
亀山高校クラブ活動後援会

有用な人をめざして

平成20年3月システムメディア科卒業　川合　尭　人

高校では本当に環境に恵まれ、最高の先生方と最高の機器による教育を受けることができました。私は1年次に生活指導の先生から「専門性だけの人間になるな」とのお言葉を頂きましたが、これはいまでも大切にしています。当時の私は「情報を学びに来たのだから他は二の次」という態度を取っていましたが、このアドバイスにはっとさせられました。この時に私自身が調整を施されていなかったならば、社会に出て本当に苦労していたと思います。

仕事を始めてから最も思考の転換を求められたのは「相手」です。私たち情報の人間は当然コンピュータを相手にして作業を行いますが、実際に対面するのは機械ではなく自分と同じ人間ですから、どうすれば拡張性が高く無駄の無いロジックを組み立てるかよりも、どうしたら人は喜び、楽しみ、あるいは悩み苦しむのかを考慮すべきだと叩き込まれました。

優れた技術を持った有能な人というのは貴重な人材です。しかしさらに社会が求めている人は〝有用〟な人であると教えられましたが、私は当初理解出来ませんでした。有能と有用の違いからして分からなかったのです。有能とは、才能があり優れた技術を習得した逸材を指し、有用とは、誰かの役に立てることを指します。技術を持っている人や同業者というのはたくさんありますが、その中から自分を選んでいただくためには、何より真っ先にお客様のことを理解しお客様に信頼していただくことが重要です。そのために高度な技術ももちろん必要ですが、それ以上に〝お客様のお役に立てる〟という、お客様にとって有用な人材にならなければならない、という意味でした。そして有用な人材であれば、必然的に技術は付いてくるとも教えられました。

実際のところ、自営業は想像以上に過酷な職業です。製作が忙しくなると、何日も何週間もモニタの前に座り、食事も作業しながらという状況にもなりますから、時には精神的に疲れてしまうこともあります。そんなときに自分の心を奮い立たせてくれるのは、お客様の喜ぶお声です。ある二輪車パーツメーカーのお客様向けシステムを開発したとき、お客様から「売り上げが上がっている」との声を頂いたときは、辛い作業が本当に報われた気持ちになりました。始めて単独で作業させていただいたお客様から手書きの年賀状を頂いたときには、涙がでそうになったほどです。このような喜びが、私の仕事の醍醐味、また次へのエネルギーになっています。

卒業して1年が経とうとしていますが、誰かを笑顔にするための技術を、今後とも学び提供し続けていこうと決意しています。

URL　http://www.systemmedia.jp/
メール　info@systemmedia.jp

我が恩師～デッカい背中～

平成21年3月総合生活科卒業　谷本　麗　之

亀山高校では、いっぱい思い出があって、楽しくて、学校が好きでしょうがなくて…本当にいろんな思い出がありますが、今から私は高校一年の時に教えを受けた先生の話をしたいと思います。

その先生は、私の常識から外れた先生でした。ヘビースモーカーで、いっつもデカイ声で、机も部屋も常に散らかってて、学校の中で鍋をしたり、鉄板で焼きそばを作ったり、適当な性格でした。それでも私は圧倒されることが多く、次第にその背中が大きく見えてきたのです。その先生のデカイ背中をずっと目指していました。

そのデカイ背中から私は『義理人情』の言葉を感じ、その言葉をモットーに生活するようになったのです。

現在、私は大学生活を送っています。大学に入って間もない頃は、これからのやることが決まっていて自分から動かないと前は見えず、目の前にひかれた道をそのまま進むだけのような気がしていました。そんな時、学生自治会という団体に出会いました。学生自治会とは、学生一人一人の声を集めて直接大学側と交渉するという活動をしていました。「大学は学生の声で変わって行かなくてはいけない」と言われたのです。それ以後、自治活動をする中でスゴイ人といっぱい出会いました。そのスゴイ人たちは、知恵、度量を兼ね備えていて、私が考えに考えた策は、大体もうその時点で実行されていたりして、驚きちょっと凹む毎日です。しかし…。今からもっと広い視野で広い世界を見て、いつか見たあのデカイ背中を超えて行きたいと思っています。

2008年3月卒業生進路状況

☆進学・就職の分類

	普通科		システムメディア科		総合生活科		全体		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
四年制大学	11	7	7	0	1	0	19	7	26
短期大学	1	9	0	2	1	11	2	22	24
専門学校	7	12	11	9	0	6	18	27	45
小計	19	28	18	11	2	17	39	56	95
就職	34	28	39	9	2	17	75	54	129
その他	2	1	0	0	0	1	2	2	4
小計	36	29	39	9	2	18	77	56	133
総計	55	57	57	20	4	35	116	112	228

☆就職者職業別分類

	普通科		システムメディア科		総合生活科		全体		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
専門的・技術的職業	1	1	1	0	1	4	3	5	8
事務的職業	0	7	1	3	0	2	1	12	13
販売の職業	1	9	0	1	1	1	2	11	13
サービスの職業	0	3	1	1	0	3	1	7	8
生産工程・労務の職業	29	8	36	3	0	7	65	18	83
運輸・通信の職業	3	0	0	1	0	0	3	1	4
合計	34	28	39	9	2	17	75	54	129

2009年3月卒業生進路状況

☆進学・就職の分類

	普通科		システムメディア科		総合生活科		全体		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
四年制大学	14	8	7	0	1	1	22	9	31
短期大学	0	10	0	1	0	6	0	17	17
専門学校	14	8	9	4	1	8	24	20	44
小計	28	26	16	5	2	15	46	46	92
就職	30	23	37	11	1	21	68	55	123
その他	0	2	1	1	0	2	1	5	6
小計	30	25	38	12	1	23	69	60	129
総計	58	51	54	17	3	38	115	106	221

☆就職者職業別分類

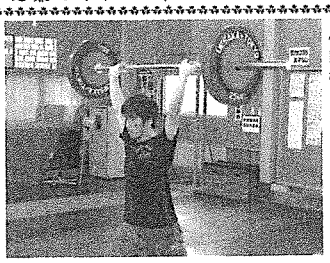
	普通科		システムメディア科		総合生活科		全体		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
専門的・技術的職業	1	4	0	1	0	2	1	7	8
事務的職業	0	8	0	4	0	3	0	15	15
販売の職業	1	1	0	0	0	2	1	3	4
サービスの職業	0	4	0	0	0	4	0	8	8
生産工程・労務の職業	28	6	36	5	1	9	65	20	85
その他	0	0	1	1	0	1	1	2	3
合計	30	23	37	11	1	21	68	55	123

record 部活動の記録

インターハイ出場

●柔道部
女子個人 48kg級　福山　裕美

●ウエイトリフティング部
69kg級　國分　郁弥
原田　浩弥



東海総体（6月20～21日）

●柔道部
女子団体　1回戦敗退
女子個人 48kg級　福山裕美　1回戦敗退

●ウエイトリフティング部
男子個人 69kg級　8位　田中　淳貴
53kg級　4位　奥野　啓太
77kg級　4位　中島　佑斗
56kg級　國分　郁弥
62kg級　8位　奥野　啓太
10位　原田　浩弥

県総体（5月29～31日）

●柔道部
男子団体　1回戦　不戦勝
2回戦　1－4　鈴鹿
女子団体　1回戦　不戦勝
2回戦　紀南　棄権
3回戦　2－1　四日市中央工業
準決勝　0－3　名張
3位　東海総体出場
男子個人 73kg級　5位　川戸　湧也
女子個人 48kg級　優勝　福山裕美
インターハイ、東海総体出場

●ウエイトリフティング部
男子個人 69kg級　4位　中島　佑斗
77kg級　7位　國分　郁弥
56kg級　8位　奥野　啓太
62kg級　10位　原田　浩弥

●男子バスケットボール部
1回戦　シード
2回戦　67－68　津
県ベスト16

●女子バスケットボール部
1回戦　60－57　暁
2回戦　28－89　四日市商業
県ベスト16

●男子バレーボール部
1回戦　2－0　神戸
2回戦　2－1　鈴鹿高専
3回戦　0－2　津工業
ベスト16

●女子バレーボール部
1回戦　0－2　紀南高校

●ハンドボール部
1回戦　10－37　桑名工業

●ソフトボール部
1回戦　5－12　桑名西

●ソフトテニス部
男子　伊藤・栗田ペア
ベスト64／354

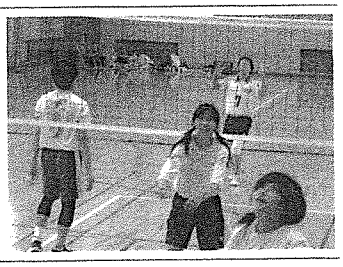
●サッカー部
1回戦　0－4　伊勢工業

●剣道部
団体
1回戦　1－1　松阪工業
本数勝ち
5－0　四日市西
1－1　高田
本数負け
結果　ベスト16
個人
2回戦敗退　渡辺（2年）・与那嶺佑（1年）
4回戦敗退　中村（3年）・与那嶺拓（2年）
5回戦敗退　ベスト16

●バドミントン部
団体戦
男子　2回戦　0－3　皇學館
女子　1回戦　0－3　四日市

●陸上部
各競技に参加

その他の大会（運動部）



●柔道部
・三重県ジュニア体重別選手権
女子個人 48kg級　福山　裕美　優勝
男子個人 57kg級　福盛　絢香　5位
66kg級　川戸　亮摩　5位
73kg級　川戸　湧也　5位
81kg級　黒川　大輝　5位
90kg級　森田　章浩　5位

●ウエイトリフティング部
・東海総合体育大会三重県予選会
77kg級　國分　郁弥　優勝
53kg級　奥野　啓太　準優勝
69kg級　原田　浩弥　3位

●ハンドボール部
1回戦　10－37　桑名工業

●ソフトボール部
1回戦　5－12　桑名西

●ソフトテニス部
男子　伊藤・栗田ペア
ベスト64／305

●剣道部
・春季大会
団体
2回戦　3－0　宇治山田商業
3回戦　1－2　木本
結果ベスト16

●バドミントン部
・三重県高等学校選手権兼全国総体県予選
1部　複　男子
坂・藤本組、今岡・宮本組
2回戦敗退
1部　単　女子
川戸・市川組
1回戦敗退
1部　複　女子
中里・江川組2回戦敗退
1部　単　男子
今岡、坂、宮本、市川、藤本
2回戦敗退
1部　単　女子
江川　1回戦敗退
2部　単　男子
石井　準優勝（395人中）

その他の大会（文化部）

●吹奏楽部
・第13回フレンドシップコンサート・イン・ブラス　出演

●ワープロ・情報部
・第51回三重県高等学校英文ワープロ・ワープロ競技大会
ワープロの部
（第2等3席
（三重県4位の成績）
吉田　翔（3年）

●放送部
・NHK杯全国高等学校放送コンテスト
三重県大会参加
アナウンス部門　（1名）
朗読部門　（2名）

●演劇部
・第26回高等学校春季演劇大会　銀賞
2009.3.27　中勢地区

●女子バレーボール部
・春季大会
1回戦　2－0　セントヨゼフ学園
2回戦　0－2　神戸

●ソフトテニス部
・東海総合体育大会　三重県予選大会
男子　伊藤・栗田ペア
ベスト64／305

●ソフトボール部
・春季大会兼東海総体県予選大会
二回戦　0－17　四日市商業

●剣道部
・春季大会
団体
2回戦　3－0　宇治山田商業
3回戦　1－2　木本
結果ベスト16

●男子バレーボール部
・春期大会
1回戦　2－0　稲生
2回戦　0－2　松阪
ベスト16

●ハンドボール部
・ヤンマカップ　6／6（土）
16－18　名張西
27－33　名張

亀山高校ホームページ
http://www.mie-c.ed.jp/hkamey/